

報新陽平

社報新陽平 發行所 福島縣平陽町南七 字活號五料廣 錢十月ヶ一定本 圓壹年ヶ一價紙

惡黨瀧川を應援せよ

磐城時報主幹 土屋知美

私は自分の新聞の原稿を毎日執筆して居るので既に忙殺されてゐて、書き間にあはぬ時は他の新聞を切抜いて自分の新聞を編輯して居る位だから、他人様の新聞の原稿などを書いて貰は世話などは焼くられた譯のものではない。然し乍ら、頼まれるれば越後から米搗にも来ると言ふ世上に例もあるから、瀧川君の意を満す爲と後一つは仲間の平陽新聞を發展させたい爲に大いに努力して、今後は毎號本紙に何か少くとも執筆して枯木で山を賑はす事にした。

一体、瀧川といふ男は世間から、大變に誤解を受けて、惡黨視されて居るやうだから第一に彼を解剖して、世間の彼に對する惡評を抹消して置ふと思ふ。

彼は曾て私の處へ来て「漆畑(辯護士)は俺のことを炭カスだと言つて居た。」と、私に言つて教へたことがあつた。追は悪口屋で有名な漆畑君のことだから、それ位はこゝろは平氣で言つたであらう。然し、漆畑君は瀧川の惡口を言つて居る反面に於て瀧川を非常に庇護して、彼を鞭達して居ることを私は知つて居る。

人間は惡口を言はれた大で取て顧られないやうでは了すにだが、惡口を言はれても、小言を言はれても、殴られても、未だ面倒を見られたり世話を焼かれたりする内ば其の人間は未だ將來に一縷の望がある。此の意味に於て瀧川は「炭カス」の一語と漆畑君の庇護に感奮して今日新聞を經營することが出来たのであらう。

彼が惡黨視されるのは、二つの原因がある、一つは眼付が頗る犇猛なるのと、一つは言葉が粗雑で亂暴で有るからだ。私は思ふ。然し、吾人は眼付の悪いのや言葉の粗雑な位の男に驚ては居られない。吾人は寧ろ顔の生白い表面は紳士然としてゐて裏面では恐る可き罪惡を犯してゐる却つて外面如菩薩内心如夜叉的の偽紳士を恐る可きだと思ふ。

假に瀧川が惡黨だとするならば、吾人は猶更のこと瀧川を庇護してやらねばならぬ義務が有ると思ふ。何故なれば惡黨を世間の人達が恐れて相手にせず、之を排し之を遠ざければ惡黨者は無爲無能となり、換言すれば就職に困り生活に迫られて、自然に惡事を働くことになる。

惡黨が先天的に遺傳性のものでなければならず、世の多くは惡黨は前者であるとするれば、惡黨より惡黨を更に惡黨の爲に即ち惡黨者を排斥して、無爲無能の生活難のどん底に落し入れて遂に惡事を働かしむるやうに仕向ける者の方が却て社會の安寧幸福を紊亂し破壊する大惡黨と言ひ得るだらう。故に、惡黨が有つたとするなれば、それが本當の惡黨者に成らぬ中途に於て是を救護して人間共同生活の實を挙げしめ人間相互の義務を履行するのが人間相互の義務であらうと私は信ずる。

私は此の意味に於て、瀧川の事業に賛成し、應援するのである。若し彼が過去に於て犯せる罪惡が假りにあつたとするなれば、それは彼の本心が犯せる罪惡と思はず、吾人は大度量を以て、貧乏といふ附随したものが知らざる間に犯したものと葬り去つて了つてやつて貰ひたい、而して、彼を鞭達して、本紙を磐城經濟界の權威ある機關紙ならしめられんことを切に希望する次第である。

目丁二町平
店服吳原大
番七〇一話電

惡疫預防に
胃腸のすきり

飲みよ
くすい
小兒に適す

ゴルフは有名なるタカチアス
胃消化を主劑とせる美味の健
胃消食錠にして慢性の胃腸病
に効能顯著なり

定價
一冊五錢
一七拾錢
一圓八拾錢

東京幸町
泰昌製藥株式會社
振替東京二七五七七

（全國藥店にあり）

をフル

舖藥屋村西町平店理代

和洋銅鐵
金物問屋

磐城平町

諸橋久太郎商店
電話九番

錦水流琵琶教授
宗家 平手錦鞭
平町三丁目川岸五三二一
増住活版所
電話二八番

店服吳井三

町平城磐
番八三電話

醒めよ 宗教家速に醒めよ

併して民衆化せよ

醒めよ、宗教家速に醒めよ、併して民衆化せよ。此の世は常に変化する、政事に轉化を要する、或は商工業總てに轉化を要する、日に月々に時々に新になつて居る、吾人は皆之を取捨選擇に迷うてゐるのである、然るに教育の智識なく政事の觀念なく經濟の實際を知らざる彼等に對しては、徹底的な人生觀も社會觀も無いのだ、世の苦しみ惱める者、在へ迷へる者は幾度か彼等の門を叩き其袖に縋りて救濟を乞ひ、慰安を求めようとしたが、徹底した社會觀、人生觀思想のない彼等に社會や人類の救濟、指導に、何の誠意や、提案や、識見のあつた筈がない、夫れは恰も病困を知らざる醫師が病を癒すことが出来ぬのと同じことだ、眼めよ、宗教家速に醒めよ、併して現在を正視して現實を正解せよ。

民衆化は時代趨勢の要求である、政事の社會化、教育の民衆化、之れ眼前の傾向ではないか、宗教も又斯くなく、其の目的が達せられ、其眞價が發揮されるのだ、正義の大道は人類の道であるから、之を實踐するに一切の階級思想を打破せねばならぬ、眞の正法は民衆的であるから、之が宣傳は一切の階級を排除せねばならぬ、然るに今の宗教家は「世間と出世間」とは異なる、己は別世界の

過般株式買収問題に關し我々業界に一大不祥事を惹起せしめ、斯界を騒がしたので、其名を賣出したる、内容乱麻の如き四倉電燈株式會社は前に紛擾を醸したる際株主なる長谷川好之助氏の所有株券三十五株を、郡山電氣に賣渡したるを當時長谷川氏の爲めに拒絶され其儘に打ち過ぎたが其後社長新妻盛氏は書記

内亂麻の如き 四倉電燈會社

社長、書記と共謀して株券名義を書替る

過般株式買収問題に關し我々業界に一大不祥事を惹起せしめ、斯界を騒がしたので、其名を賣出したる、内容乱麻の如き四倉電燈株式會社は前に紛擾を醸したる際株主なる長谷川好之助氏の所有株券三十五株を、郡山電氣に賣渡したるを當時長谷川氏の爲めに拒絶され其儘に打ち過ぎたが其後社長新妻盛氏は書記

財會茶話

ガリく亡者

世の中に商賈人程得手勝手な我利々者は他にない、此の間戦時中から引續き、つい此間まで暴利に暴利を貪り懐中を肥して置きながら、一朝財界の雲行きが悪くなり相場が暴落すると、久しい間の暴利所得をクローと忘れて損失を輕視せんとあらゆる手段方法を講じてゐる、元來戦時中から引續ける商品市場の景氣なるものは需給關係を無視した思惑相場で、過大の假需要を基礎とせる博奕相場であるから、財界反動期に入れば、夢幻の如き假需要は雲散霧消して、茲に眞の雷給から割出され、常態に復歸せねばならぬ、即ち不自然の高値によつて收

俺は惡黨か!

瀧川 寛

私はこんだ本紙を發行したらないと思つて居るが、新聞に於ける如何なる商賈職業に就いて居るか知らないが、新聞の必要はないが、多寡が廣告料位を的にして單なる物好きにやれる譯のものではない、抑も僕が有志の後援に依つて本紙を經營するに至つた理由は、前にも述べた通り、廢れる現代經濟界の警鐘となつて、横着なる資本家や事業家をヤツケルと同時に一方大に善良なる人の味方となり生れて三十年何成す事もなく世の中に野良つき世話やかした埋草に仕様と言つた第である、然るに仲間の土屋氏が俺の事を惡黨呼りをして居るが、當人は一向さうは思つてゐない、夫れに「俺は惡黨だ」と云ふ様なツラした事もなく、未だ一邊も覺いがない、然るに氏の言ふ如く實際世間が俺を惡黨と見て居るとすれば俺も幾分心づよい様な氣もする、尤も惡黨と云ふ者は眼つき、除り光榮とも思はれない、其の惡言惡語の荒いもの、言ふ様に廣義に解釋すれば、俺も其範圍に入るかも知れないが、ハテ心得ぬ感じがする、夫れに「俺は惡黨の部類にこそ這入るが惡黨をして食ひ居る人間の部類には這入らない、食ひ居る人間は全體おまの職業は何だと言ふか、それなら一寸當惑するが、賣賣とか職業とか言ふものは少くも、それによつて衣食住が出來なければ商賈職業と名付けるに足

春秋
 ▼資本金二十萬圓を擧ぐるや否かは經營の是非を以て創立を發起如何に依る。
 ▼平町某病院長の家庭に、白陽商事株式會社は、紛くさき風吹込み家庭に不和を醸もしつゝあることは時節を柄相應しからず此種の御家騒動絶つて久しきに今日にして之を聞く痛嘆の極みなり。
 ▼折柄株式の募集發表なしたる柄相應しからず此種の御家騒動絶つて久しきに今日にして之を聞く痛嘆の極みなり。
 ▼折柄株式の募集發表なしたる柄相應しからず此種の御家騒動絶つて久しきに今日にして之を聞く痛嘆の極みなり。
 ▼折柄株式の募集發表なしたる柄相應しからず此種の御家騒動絶つて久しきに今日にして之を聞く痛嘆の極みなり。

仙臺市大町三丁目

諸官廳 御用 **伊藤活版所**

電話 六五八番

平町四丁目

書籍 文房其 **柴田商會**

電話 二三四番

海產物 平町停車場通り

罐詰 鶏卵 **高木喜市**

電話 二六二番

仙臺市南町

旅館 境界屋

電話 四九番

平町二丁目裏川町

御料理 天ぶら **越乃家**

電話 三三〇番

常磐線原町

西洋料理 **都川**

電話 三七番

金米掛物類一式

金子豆本舗 **サカエヤ支店**

磐城平町長橋町

福島縣平町南町

佐川洋服店

平町町

美術寫真 **中島寫真館**

◎夜間撮影致します

木材。大谷石商

福島縣平町

不色川勝三郎商店

電話 三四一番

海 岸 線 原 町 藝 妓 屋 組 合

榮華樓 電話 五二番

小柳家 電話 二一八番

岩城屋 電話 一三番

新柳屋 電話 一〇七番

丸川 電話 二一六番

若柳家 電話 六六番

新福本 電話 三七番

營業品目

小松あられ 龍燈あられ 金米掛物一式

賜 國 母 下 御 買 上 光 榮

福島縣平町

磐城製菓株式會社

電話 三六〇番

祝發刊

福島縣平町二丁目



煙草元賣捌人中野勇吉支店

電話 五六番

福島縣平町二丁目

仙臺屋吳服店

電話 一一七番 口座 一二六二八番

▲營業科目▼

- 一、有價證券現物賣買
- 一、有價證券擔保貸付
- 一、有價證券受渡決済ノ代理
- 一、有價證券信託預リ

平町南町七五

平證券株式會社

電話 一六六番